

## 一期一会

私がスクールカウンセラーワーとして勤めている中学で、起立性調整障害などと診断され、体のだるさを訴えて平常登校できず、一日数十分だけ登校して別室で学年付きの先生と話し、すぐに下校するという生徒がいる。

その生徒と廊下で立ち話したとき、彼は「僕は将

来自衛隊に入りたい。人の役に立ちたいし、身体が弱いので鍛えたい」と話してくれた。私はするりと「自衛隊に入りたいんだ、じゃあ頑張って学校に来ないとね」と言つた。しかしその後、自分の言葉の残酷さに気づく。頑張らなくてはいけないと百も承知なのに平常登校できないのに平常登校できない彼の辛さに追い討ちをかけたデリカシーのなさ。

（順）

だ、そして人の役にたちた  
いんだね！じやあ今、朝から学校に来られないの  
はほんとに悔しいね」と言  
うべきではないか。彼の辛い気持ちを返すことだけをすればいいのに、それ以外のことをしようとしていた私。「がんばれ」は、先生が充分以上に伝えているに違いないし、私にはその必要は全くないのに…